

～心を育み、生活力を育てる食育を！～

保育料の無償化に伴い、給食費や主食費の徴収をさせていただいておりますが、保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

幼児クラスでも、主食を提供するようになり、温かいご飯をお茶碗で食べたり、おひつのふたを開けるとふわっと溢れる湯気に歓声があがったり、おかわりをしようとするようになったりしています。お茶碗を使用して食べるようになりましたので、箸の使い方の指導も園でもしていますが、家庭でのご協力もお願いいたします。

①家族でいっしょに楽しく食事をする。

団らんして、「心の安定」を図ります。食卓は子ども達の心をキャッチできる絶好の場です。

②食事の時はテレビを消す。

子どもが「**食事に集中**」できる場を整えます。食事時間は20分～30分程度で食べられる量を配膳しましょう。

③大人が見本を見せる。

口を閉じて、よくかんで食べます。**文化**(生き方、食べ方、暮らし方)を伝えましょう。

④毎日繰り返す。

毎日繰り返される中で、しぜんに身につくように工夫しましょう。空腹で食卓にむかわせるよう**規則正しい生活**作りをしましょう。

あそびの工夫アラカルト



鉄棒にロープや板を入れてブランコに

壊れる家をどうにか立て直そうと
支柱に
ガムテープ



令和元年 12月の保育園だより



坂みみよう保育園

主体的な学びの育ちをつなごう

～アートな生活とあそび展を終えて～

保育園から眺める山々は紅葉してとてもきれいですが、木枯らしが吹くごとに冬の到来を感じる頃となりました。

まだインフルエンザの発症報告はありませんが、町内の子ども園、保育園、小中学校と乳幼児、児童、生徒の発症報告もありますので、子ども達の体調管理、感染症の予防としての手洗い、うがいなどの励行には(下痢、嘔吐症状のある乳幼児は有)今後とも気をつけていきましょう。

先月の『アートな生活とあそび展』にはご家族、地域の方々などたくさんご来園いただきありがとうございました。保育園での生活やあそびから子ども達の主体的な学びとは何かを深めたいと思いました。子ども達の主体的な活動を見守り、思いに沿って対応することは、保育者側の柔軟さを要求されることもしばしばありながら当日を迎えました。

「写真での展示も多く、当日までの子ども達の生活やあそびの広がりがよくわかった。」「親子で一緒にあそぶことで自分自身も童心に返り楽しめた。」「乳児クラスの孫がこんなゴミみたいと思う物でじっくりあそぶ姿に感動したり、あそびの見方が変わった。」「今年度は園庭にもアートな作品やあそびのコーナーもあり、伸び伸びとした空間で素敵だった。」「食品バザーの売り場は混雑せず、子ども達もよく食べた。」「保護者会さくらんぼ会の物品バザーの売り場は、きちんと商品が整理され、役員、お手伝いの有志の皆さんの対応が丁寧で気持ち良かった。詰め放題のコーナーが面白かった。」「園開放の体験コーナーが不思議体験できた。」

反面、「食事のお部屋に絵画などの個

人展示がしてあったので、食事中の方に迷惑かなと思うとゆっくり観ることができなかった。」「園庭で食事をしたが、小学生の転がすタイヤや絵の具のあそびが気になり迷惑だと感じた。」「食品バザーの種類が少なかった。(乳児も喜びメニューもあるとよい)」などのご意見もいただき、工夫、改善へと活かしてゆきたいと思っています。

『アートな生活やあそび展』を終えてからも続いているあそびはたくさんありますが、例えば園庭でのあそびにも変化や広がりが見えて、友達同士のつながりも深まってきたように感じています。

変化…新たな発想力 段ボールの形は時とともに崩れていますが、違う物に見立てごっこあそびに活用(リクライニングチェアやすべり台)、新しい素材(ロープ、木切れ、網)と組み合わせるあそび面白さを発見。

広がり…異年齢(乳児も含め)との自然な交流が生まれ、2歳児さんは幼児のあそびを模倣しながら「やってみたい！」を言葉で表現するようになる。

考えを共有する場…次のあそびの目当て(お家を作ろうなど)や考えを出しながらあそびのイメージをお友達と共有することで、トラブルもありますが、群れてあそぶ姿が多く見られるようになる。

園庭を行き交う子ども達はとても活発に動き、色んなあそび方を見つけ、お友達を感じながらあそぶようになってきました。坂町保小連携の公開保育(11/13)や地域公開保育(11/15・第三者委員の一日園長)時に、地域の方や学校関係者にも育ちをつないでいくことの大切さを感じていただいたようでした。

今月は幼児の生活発表会もあります。主体的な学びの意味を子ども達のあそびを通して深く読み取り、保育の質を高めていきたいと思っています。(園長・倉本弘子)

幼児・生活発表会

『環境を通した保育』の充実を図りながら、日常の保育の延長線上にある生活発表会を目指し、各クラスとも色んな工夫をしながらあそびを展開しています。保護者の皆様とともに子ども達の成長を確認し合う場になることを願いながら、子ども達とともに楽しんでいただければと思っています。

二部制になっておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

日時：12/21(土) 午前9時～年中児
午前10時15分～正午過ぎ
年少、年中児

場所：坂みみよう保育園 2F ホール

※正式な開始時間については、12/16(月)の全体練習が終了後、別紙お手紙を配布いたします。

社会とのつながりを

意識する触れ合いを！！

今月は、森浜地区有志共催もちつき会(12/5・木) 坂町社会福祉協議会共催お楽しみ会(12/24・火)ニチイケアセンタークリスマス交流会(12/25・水・年長児のみ)等、地域の有志の皆様、坂町民生児童委員の皆様、通所リハビリテーション施設の職員や利用者の皆様など、保育園を取り巻く地域住民の皆様との触れ合いの中で、お互いのメリットを活かしながら交流を深めていきたいと思っています。

年末年始とご家族と一緒に過ごす時間も多いかと思います。公共のルール、交通安全などを通して家族、社会の一員であることを語ってあげましょう。